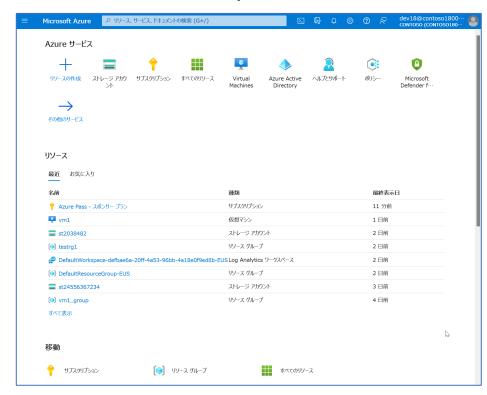
Azureの管理ツール

2023/6/18

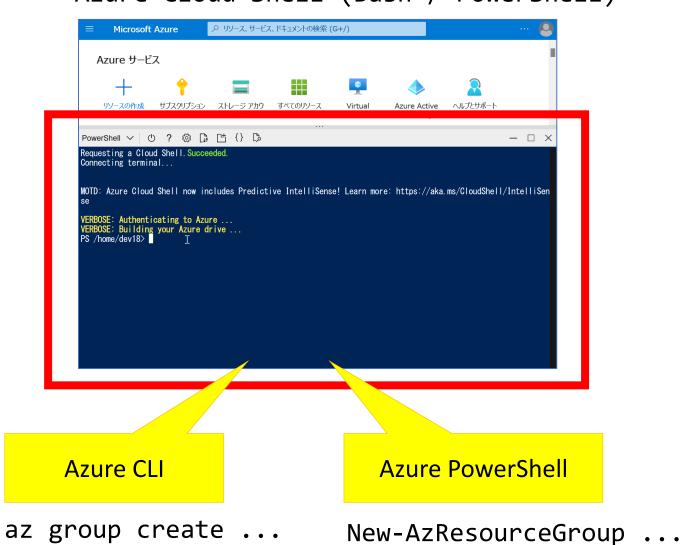
Azureの管理者は、これらの管理ツールを使用して、Azureの操作を行うことができる。 AzureではAzure Resource ManagerというしくみでAzureリソースを管理している。

Azure portal





Azure Cloud Shell (Bash / PowerShell)

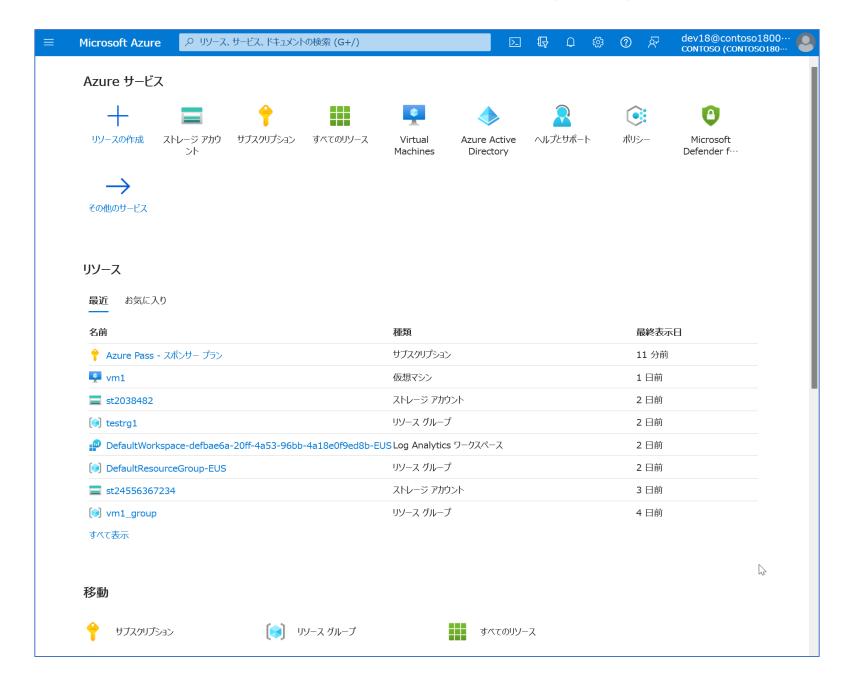


pは小文字

Azure portal

Azureの管理画面。Webブラウザーでアクセス可能。

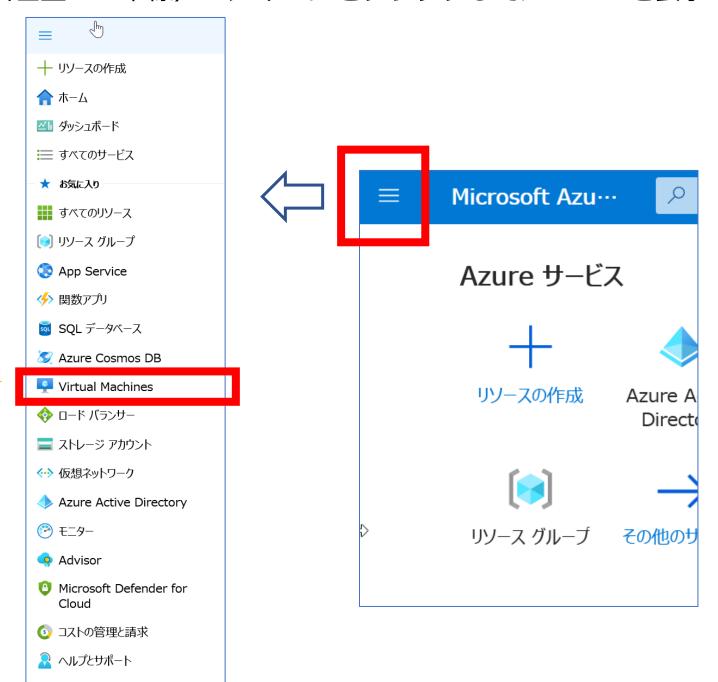
Webブラウザーで Azure portal を開き、Azureの管理を行う。<u>https://portal.azure.com/</u>



ポータル メニュー を表示



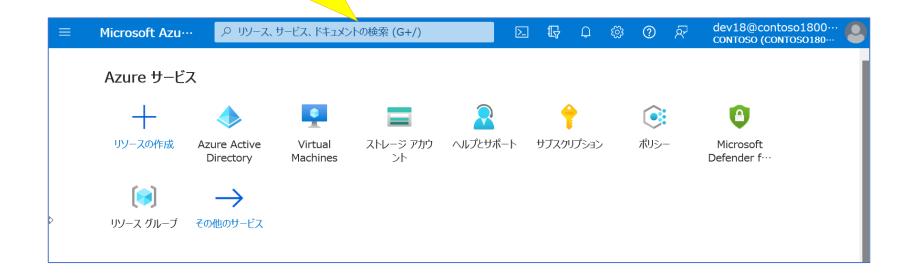
ポータルメニュー(画面左上の三本線)のアイコンをクリックしてメニューを表示できる



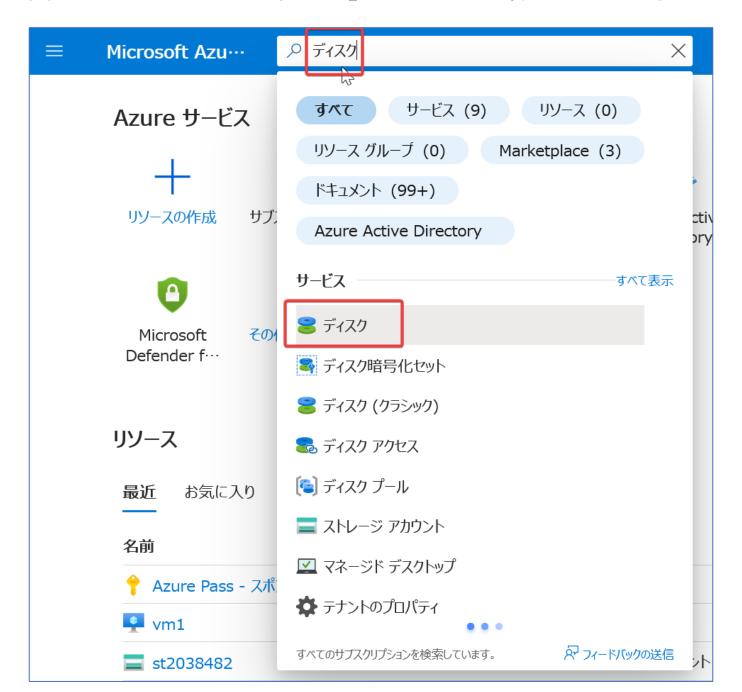
仮想マシンの作成

ポータルメニューにないサービスは、検索で探す

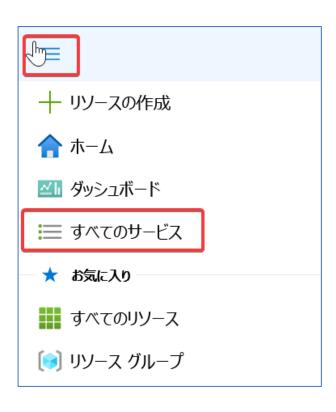
サービスやリソースの 検索

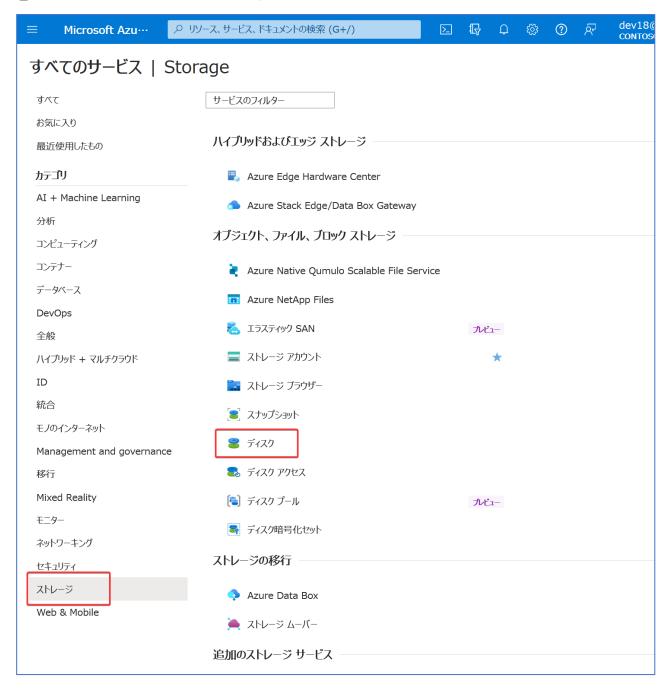


例: ポータルメニューに含まれていない「ディスク」リソースを作成したい場合



ポータル メニュー> 「すべてのサービス」からもサービスを見つけられる



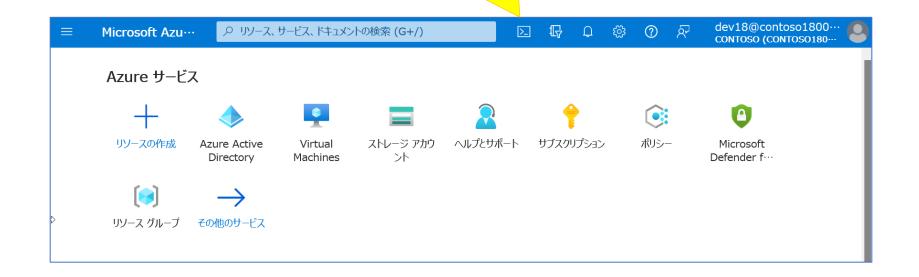


Azure Cloud Shell

Azure portalに組み込まれたシェル(コマンド実行環境) Azure上での作業を、コマンドから実行できる。 入力したコマンドはAzure上で実行される。

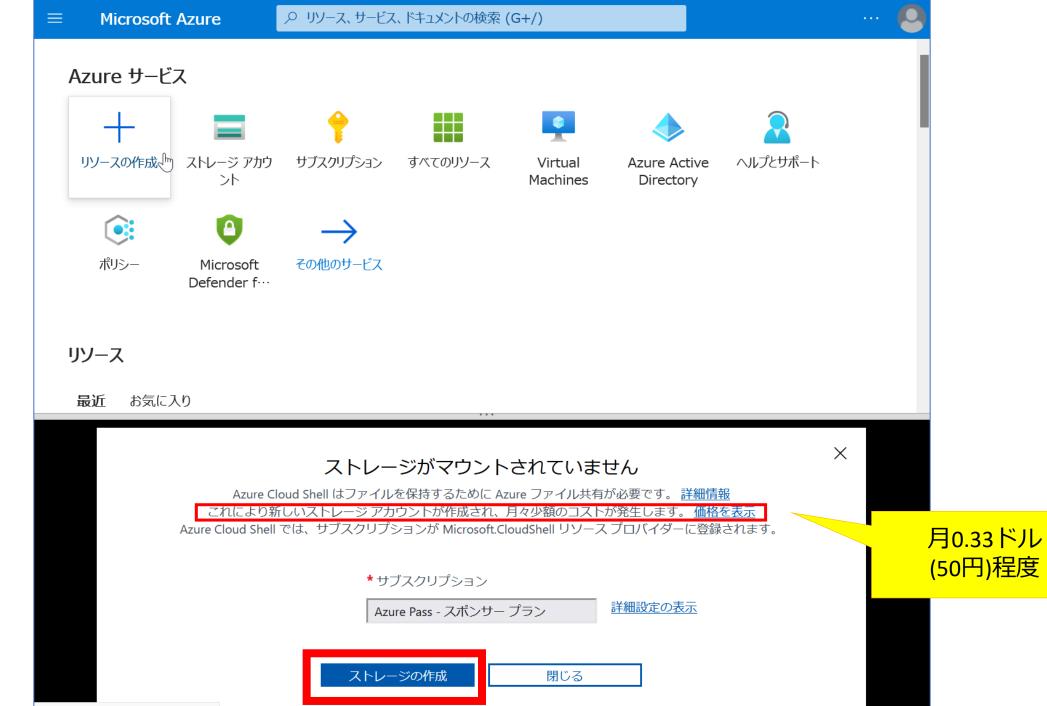
画面上部の、左から2番目のアイコンをクリック

Azure Cloud Shellの起動



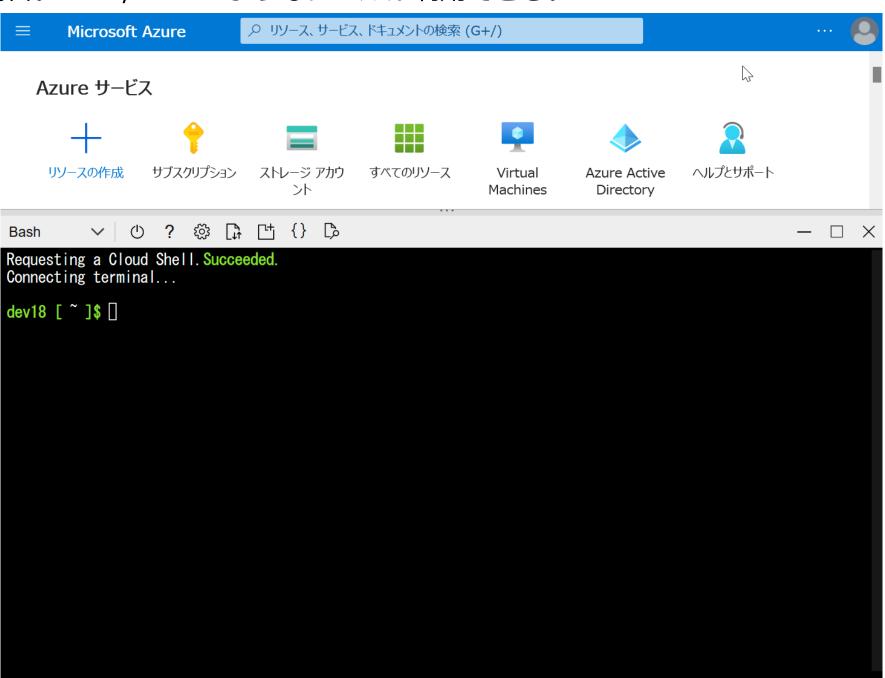
画面が狭い場合は、アイコンが「…」(省略記号)の中にまとめられる



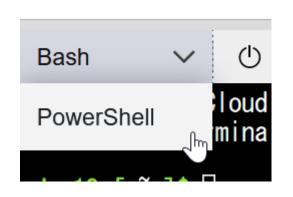


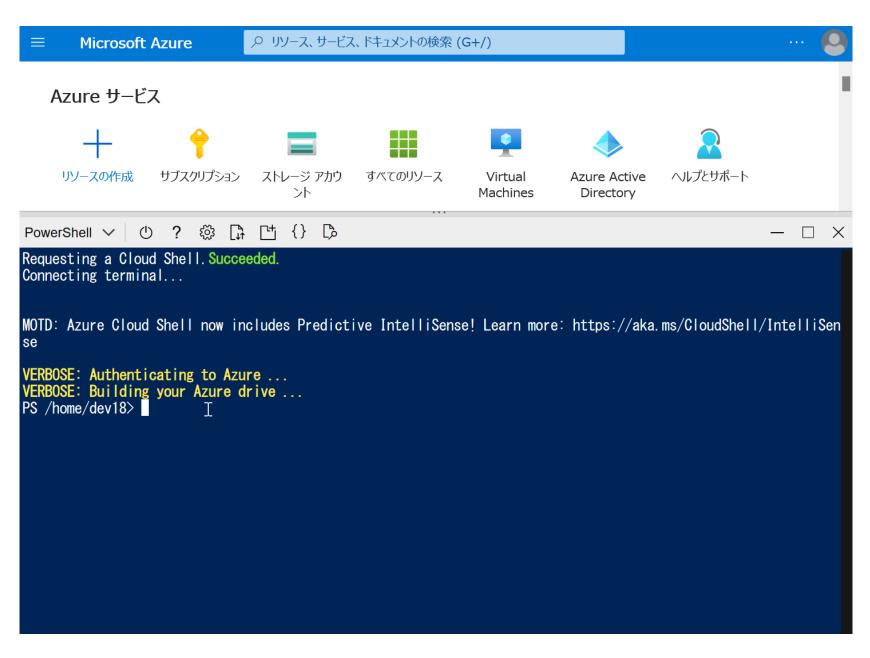
https://portal.azure.com/#create/hub

Bashを選択した場合。Linux / UNIX のようなシェルが利用できる。



PowerShellを選択した場合。WindowsのPowerShellのようなシェルが利用できる。





Azure CLI

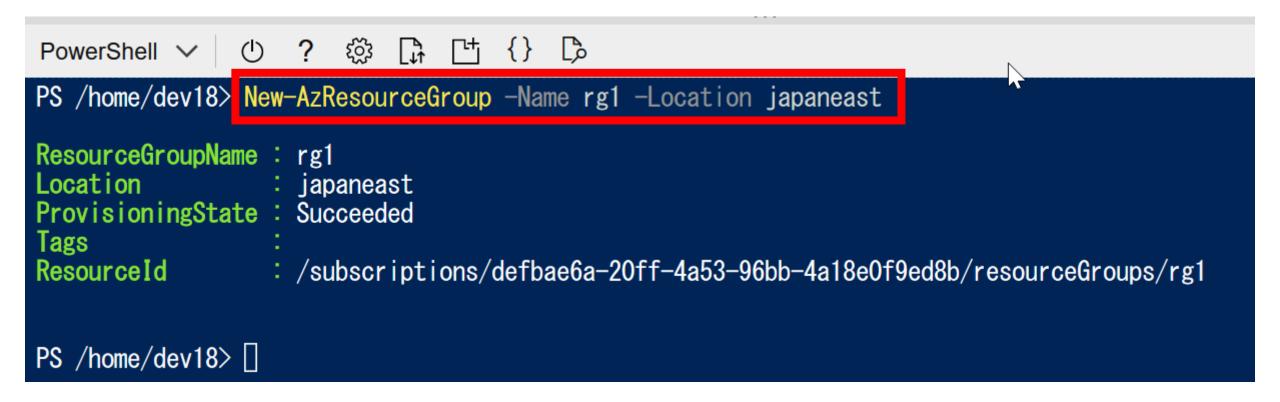
Azureを操作するためのコマンドツール。 Azure Cloud Shellに組み込まれている。

Bash で Azure CLI(az コマンド)を使用してリソースグループを作成する例

```
? 戀 🖟 🖰 {}
Bash
Requesting a Cloud Shell. Succeeded.
Connecting terminal...
dev18 [~]$ az group create --name rg2 --location japanwest
  "id": "/subscriptions/defbae6a-20ff-4a53-96bb-4a18e0f9ed8b/resourceGroups/rg2",
  "location": "japanwest",
  "managedBy": null,
  "name": "rg2",
  "properties":
    "provisioningState"; "Succeeded"
  "tags": null,
  "type": "Microsoft. Resources/resourceGroups"
dev18 [ ~ ]$
```

Azure PowerShell

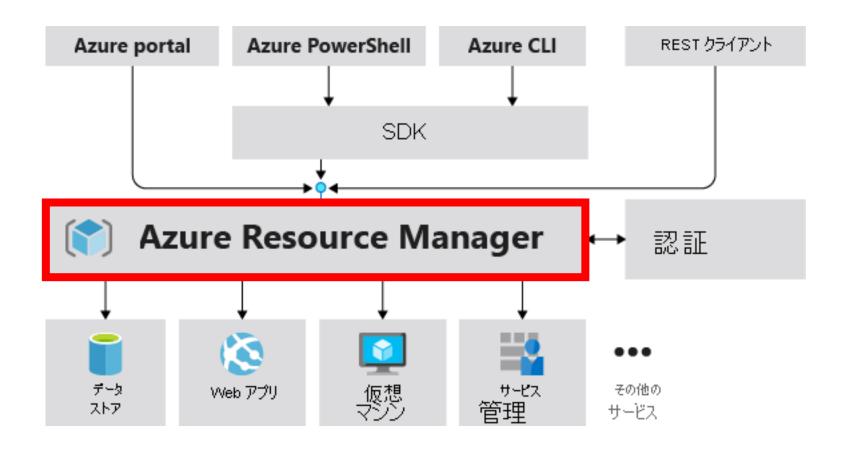
Azureを操作するためのPowerShell用モジュール。 Azure Cloud ShellのPowerShellに組み込まれている。 PowerShell で Azure PowerShell を使用してリソースグループを作成する例



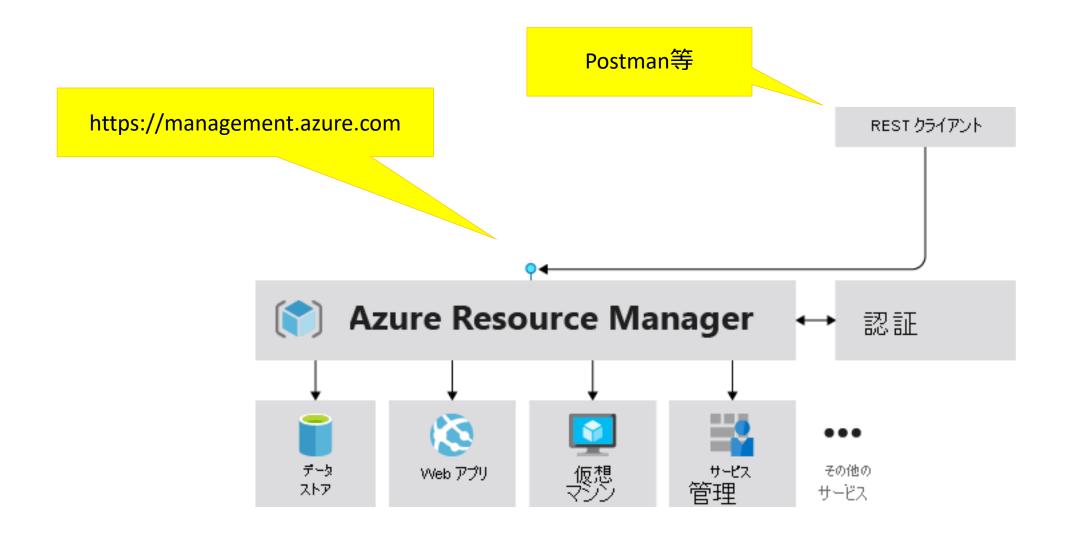
Azure Resource Manager (ARM)

Azureリソースの管理機能を提供

ARM(Azure Resource Manager)はAzureリソースを管理するしくみ。 Azureリソースのデプロイ(作成)や管理を担当する「管理レイヤー」。 2015年頃から利用されている。



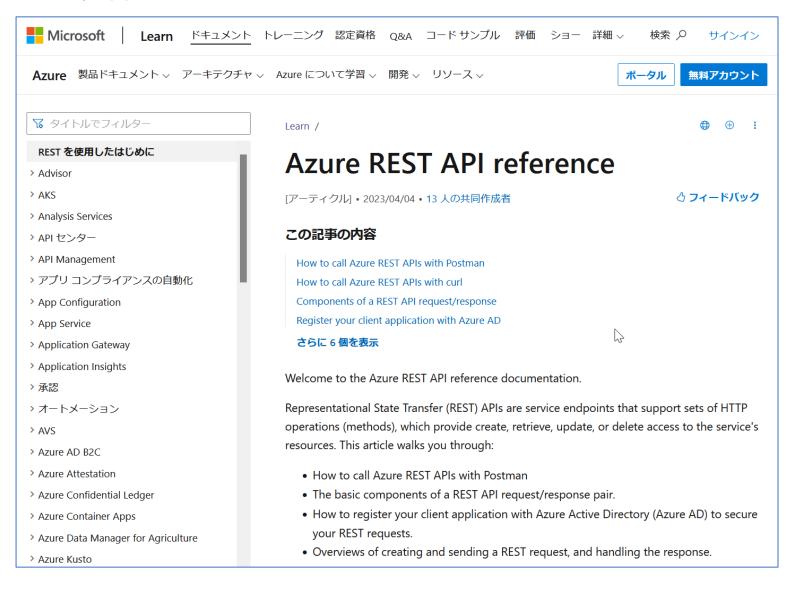
ARMは、Azure リソースを操作するためのREST APIを提供する。



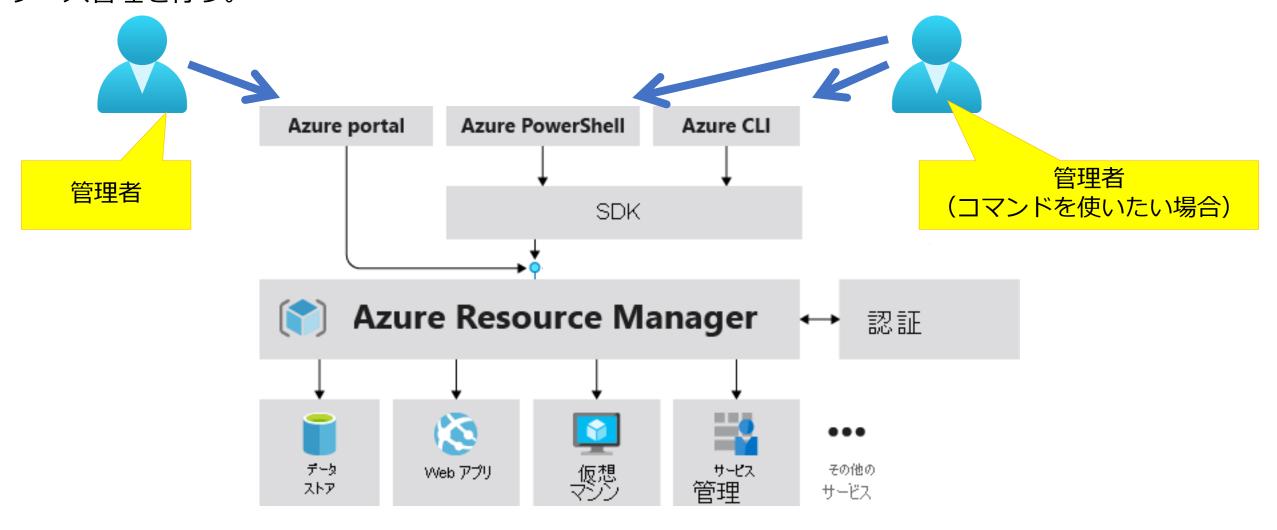
my-resource-group というリソースグループを eastus (米国東部リージョン) に作成

```
PUT https://management.azure.com/subscriptions/(サブスク
リプションID)/resourcegroups/my-resource-group?api-
version=2021-04-01
{
 "location": "eastus"
}
```

通常、Azure REST APIを使用する必要はないが、**Azureの詳細な仕様を確認したい**といった場合に、Azure REST APIのドキュメントを確認したり、REST APIを直接呼び出してレスポンスの生データを確認したりすることがある。上級者向け。



通常、Azure管理者は、Azure portal、Azure PowerShell、Azure CLIなどの管理ツールを使用して、Azureのリソース管理を行う。



Azureの開発者は、Azure SDK(ライブラリ)を使用して、C#などのプログラムから、Azureリソースを操作 することも可能。 Azure SDK 開発者 (Software Development Kit) SDK **Azure Resource Manager** データ その他の Web アプリ ストア 管理 サービス

Azure SDKのダウンロードページ

SDK	SDK			
1	プログラムを使用して Azure サービスを管理し、操作できます。			
ツール	Azure SDK は、お客様のお好みの言語で Azure サービスを簡単に使用できるように構築されたライブラリのコレクションです。これらのライブラリは、一貫性がありわかりやすく、診断可能で信頼でき、そして自然に使用できるよう設計されています。最新のリリース、ドキュメント、設計ガイドラインをご覧ください。			
	.NET SDK の取得 ドキュメント GitHub (英語)	Java <u>SDK の</u> 取得 <u>ドキュメント</u> <u>GitHub (英語)</u>	JavaScript と TypeScript SDK の取得 ドキュメント GitHub (英語)	Python SDK の取得 ドキュメント GitHub (英語)
	Go SDK の取得 <u>ド</u> キュメント	C++ <u>GitHub (英語)</u>	C <u>GitHub (英語)</u>	Android <u>GitHub (英語)</u>
	<u>GitHub (英語)</u> iOS			
	GitHub (英語)			

https://azure.microsoft.com/ja-jp/downloads/

リソースグループを作成するC#プログラムの例(Azure SDKを利用)

```
// First, initialize the ArmClient and get the default subscription
ArmClient client = new ArmClient(new DefaultAzureCredential());
// Now we get a ResourceGroup collection for that subscription
SubscriptionResource subscription = await client.GetDefaultSubscriptionAsync();
ResourceGroupCollection resourceGroupCollection = subscription. GetResourceGroups();
// With the collection, we can create a new resource group with an specific name
string resourceGroupName = "myRgName";
AzureLocation location = AzureLocation.WestUS2;
ResourceGroupData resourceGroupData = new ResourceGroupData(location);
await resourceGroupCollection.CreateOrUpdateAsync(resourceGroupName, rsourceGroupData);
```

※通常、Azure管理者は、Azure portal、Azure PowerShell、Azure CLIなどを使用して、Azureのリソース管理を行えばよく、リソースグループを作成するためにプログラムを開発する必要はない。

独自のAzure管理ツールを作成したり、アプリやシステムからAzureリソースを直接操作する必要がある場合に、上記のようなプログラムを書いて対応する。

ARMテンプレート

Azureリソースをまとめて定義し、デプロイ(作成)。

「ARMテンプレート」(JSONファイル)を作成し、その中に、作成したいリソースの情報を記述する。 復数のリソースをまとめて**デプロイ**(作成)できる。

azuredeploy.json



Azure CLIのコマンドの例



az deployment group create ¥

- -g testrg1 ¥
- -f azuredeploy.json



ARMテンプレートの例 (ストレージアカウント)

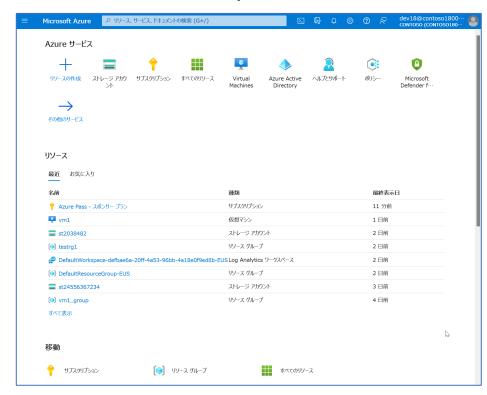
```
"$schema": "https://schema.management.azure.com/schemas/2019-04-01/deploymentTemplate.json#",
"contentVersion": "1.0.0.0",
"resources": [
    "type": "Microsoft.Storage/storageAccounts",
    "apiVersion": "2021-09-01",
    "name": "st123456",
    "location": "eastus",
    "sku": {
      "name": "Standard_LRS"
    "kind": "StorageV2"
```

まとめ

Azureの管理ツール

Azureの管理者は、これらの管理ツールを使用して、Azureの操作を行うことができる。 AzureではAzure Resource ManagerというしくみでAzureリソースを管理している。

Azure portal





Azure Cloud Shell (Bash / PowerShell)

